（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターパステル　単位2			
○保護者評価実施期間	令和7年4月21日	～		令和7年5月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7名	（回答者数）	3名
○従業者評価実施期間	令和7年4月14日	～		令和7年5月10日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリアフリーで広々とした場所で活動を行っています。	医療的ケア児の受け入れも行っているので、事故が起きないよう場所を分けて支援を行っています。	事故がないように取り組んでいきます。
2	医療的ケアが必要な児童に対しては、医療機関との連携も行っています。	医療機関で行うカンファレンスなど、児童発達支援管理責任者や看護師を同席し参加しています。	関係機関との連携を密にとって、ご家族が安心して通えるよう務めていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育所や認定こども園との交流	福祉まつりには参加しているが、新型コロナウイルス以降なかなか地域の保育園との交流もやりづらく状況です。	感染症は気になるところだが、方法を検討し今後交流機会の場を検討していきます。
2	活動内容や行事など定期的に保護者へ発信	毎月のたよりで、活動内容や次月の行事などを伝えているが不十分なので、検討していきます。	ソフトを導入しており、ご家族も活動内容など閲覧できるサービスもあるので上手く活用し、保護者へ伝えていきます。
3	災害時や事故防止マニュアルなど、作成しているが保護者への周知にまで至っていませんでした。	作成しているので、周知方法を今後検討していきます。	保護者が見える場所に設置し、たよりの内容に記載していきます。